



令和5年度 生命尊重全国研修会議

つなげよう！授かるいのち ひろげよう！命をつなぐよろこび

—お腹の赤ちゃんをみんなで迎えるまちづくり—

7000 人の子の命を救った
心臓外科医が特別研修



高橋幸宏氏

(榊原記念病院副院長)

「7000 人の小さな命を救って」



日時: **3月26日(日)**
9時55分~15時30分 (受付9:20~)

場所: AP 市ヶ谷 8F ホール

参加費: 4000 円 (資料代・昼食代) ※託児300円

(会場までのアクセス)



(JR 総武線「市ヶ谷駅」・東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」3番出口 徒歩2分)

主催) 生命尊重全国研修会実行委員会 / 問合せ) 生命尊重センター TEL03-3239-0239

FAX 参加申込書

FAX03-3556-5075

お名前

御住所 〒

TEL

ごあんない

小さな灯から始まった生命尊重運動も、お蔭様で39年。3年ぶりに開催する全国研修会に、国内トップレベルの小児心臓外科医として知られる榊原記念病院副院長・高橋幸宏氏を講師に迎え、「7000人の小さな命を救って」と題し研修頂くことになりました。

高橋氏は、出生前診断の進歩によって胎児期に病気や障害が見つかり、中絶されていく命がここ2、3年増えていることを憂いておられ、「僕が救ってあげられなかった多くの生命(胎児)、人生を歩きたくても歩けなかった生命のことを思うと、まだまだやらなければいけないことがたくさんあるし、命ある限り歩き続けなければ!」と語っておられます。その思いは、39年間、お腹の赤ちゃんとお母さんを応援し続けてきた私たちも同じです。

去年は、経口中絶薬承認反対に向けた署名活動を展開し、12月末に厚労大臣に55,000余筆の署名を提出。年内に続き、1月も承認を回避することができましたのも、全国のいのちの会やプロジェクトの協力者の皆さまのおかげです。

しかしながら、新型出生前診断による中絶の横行や児童虐待の急増等、子宮の内外に関わらず、小さな命に思いをいたさない悲しい現状があり、戦後、母体保護法の下、安易な中絶が許されてきたことにより、生命の選別思想がますます根づいているのではないのでしょうか。

今回の研修会を通じ、経口中絶薬承認 STOP に向け、小さな命に思いを寄せ署名に協力下さった団体の皆さまが一堂に会し、また若者やお母さん方との繋がりを拓くため、全国のいのちの仲間が共に手を携え、これからの生命尊重運動の未来に繋ぐスタートの年として、今年度の生命尊重全国研修会を開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

〈主なプログラム〉

(午前)

・研修Ⅰ

「7000人の小さな命を救って」
高橋幸宏氏

・国会報告他

(午後)

・研修Ⅱ 交渉中

・全国活動交流他



全国旅行支援を



是非活用ください!



※プログラム詳細は、第二弾の案内でお知らせします。